

経済指標ウォッチャー

5月米国雇用統計 市場予想を上回る雇用者数増加

失業率は3カ月連続で横ばい

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

市場予想を上回る雇用者数増加

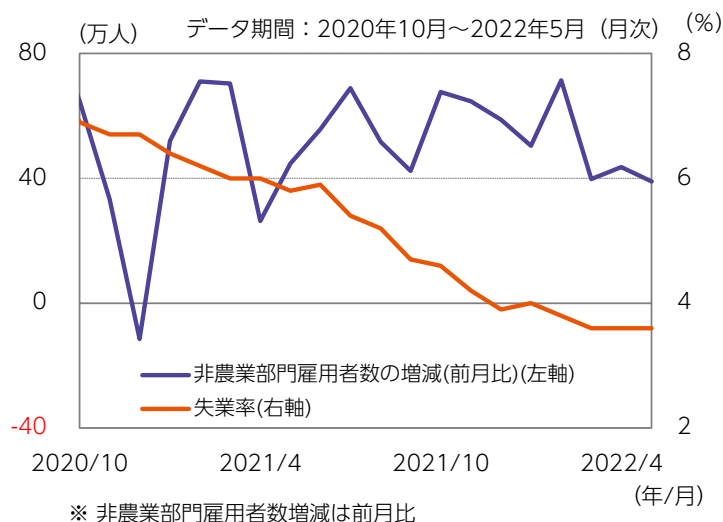
3日に米国労働省が発表した5月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比39.0万人増と市場予想の同31.8万人増を上回りました。失業率は3.6%と3カ月連続で横ばいとなっており、2020年2月以来の低水準を維持しています(図表1)。経済活動の正常化が進んでいることなどから、引き続き「接客・レジャー」などの雇用者数の増加が目立つ結果となりました。

16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率はコロナ前(2020年2月)の水準まで戻っていません(図表2)。コロナ禍で求職活動を停止していた労働者が未だ労働市場に戻っていないとみられます。より条件の良い雇用環境が整うまで、職探しを行わない労働者が一定数いるとみられます。労働者が職探しを本格的に開始するまでは、雇用が逼迫する状況が続く可能性があります。

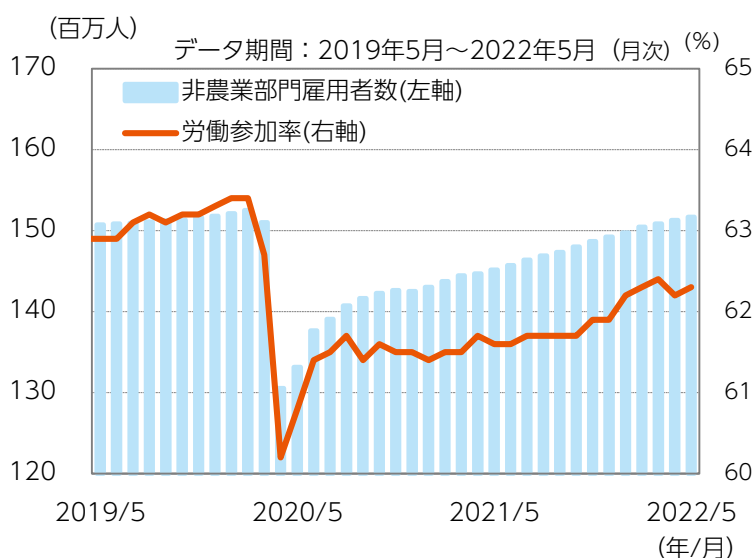
賃金上昇は横ばい

5月の労働者の平均時給は前月比+0.3%と2カ月連続での横ばいとなりました。市場では賃金上昇圧力が一服したとの見方もあります。賃金上昇は企業のコストを押し上げ、価格上昇要因となることから、賃金上昇率はインフレ関連指標とも言われます。しかし、人手不足を背景に市場予想を上回る雇用者数増加となるなど、雇用環境の逼迫は続いており、市場では6月FOMC(米連邦公開市場委員会)で0.5%の利上げ、その後も引締め姿勢が継続されるとの見方が大勢を占めています。今後数カ月の雇用関連指標は、金融政策に大きな影響を与えていくものと想定されます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：非農業部門雇用者数と労働参加率



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>